

## 2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年6月14日

上場会社名 株式会社一寸房 上場取引所 東  
コード番号 7355 URL http://issun.jp/  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上山 哲正  
問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)古田 章久 (TEL) 011(215)0061  
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年7月期第3四半期の連結業績(2023年8月1日~2024年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	955	△2.7	△9	-	△4	-	△0	-
2023年7月期第3四半期	981	10.6	28	△59.9	32	△57.6	28	△50.9

(注) 包括利益 2024年7月期第3四半期 △0百万円 (-%) 2023年7月期第3四半期 28百万円 (△51.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	△0.55	-
2023年7月期第3四半期	50.69	50.34

(注) 1. 2024年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 2024年2月1日付で、株式併合(普通株式4株を1株に併合)を実施しました。

上記の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	648	104	16.1
2023年7月期	688	105	15.2

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 104百万円 2023年7月期 104百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年7月期	-	0.00	-	-	-
2024年7月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日~2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,274	△5.0	2	△72.6	8	△51.5	△4	-	△7.75

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2 2024年2月1日付で株式併合(普通株式4株を1株に併合)を実施いたしました。

上記の1株当たり当期純利益については、株式併合後の金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	570,275株	2023年7月期	570,275株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	一株	2023年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	570,275株	2023年7月期3Q	570,275株

(注) 2024年2月1日付で、株式併合（普通株式4株を1株に併合）を実施しました。

上記の期末発行済株式数（自己株式を含む）、期中平均株式数（四半期累計）については、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な為替変動の影響、ウクライナやパレスチナ情勢などの地政学的リスクに伴う物価高の影響により、経済環境の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループの主要取引先である建設業界におきましても、人手不足倒産が過去最多になるなど、人材確保が業界全体としての課題である状況であることから、今後も注視が必要な状況となっております。

このような経済環境の中で、当社グループは、2023年10月13日に北海道で初となるBIM ISO19650-2に基づく、設計と建設のためのBIM BSI VCを取得し、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みを加速させるため、BIMやCIMなどの3次元設計技術の体制強化及びXR技術を活用した最新デジタルコンテンツ制作を積極的に行い、設計図面データとデジタルコンテンツ技術を融合させたビジネスモデルの付加価値向上を図ってまいりました。継続的に人材採用や技術者育成に注力し、建設設計に関わるワンストップサービス（意匠設計、構造設計、生産設計、設備設計、測量設計）の充実と企業価値の向上を目指します。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は955,589千円（前年同期比2.7%減）、営業損失9,312千円（前年同四半期は営業利益28,218千円）、経常損失4,357千円（前年同四半期は経常利益32,502千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は315千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益28,909千円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ①設計ソリューション事業

設計ソリューション事業の売上高は777,413千円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は191,502千円（同11.4%増）となりました。

#### ②測量事業

測量事業の売上高は112,142千円（前年同期比31.1%減）、セグメント損失は3,335千円（前年同四半期はセグメント利益44,692千円）となりました。

#### ③派遣事業

派遣事業の売上高は79,401千円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は22,377千円（同10.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は539,661千円となり、前連結会計年度末と比べ54,371千円減少（前連結会計年度末比9.2%減）いたしました。これは主に、現金及び預金が97,069千円減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が38,879千円、棚卸資産が5,088千円増加したことによるものであります。固定資産は108,548千円となり、前連結会計年度末と比べ14,325千円増加（同15.2%増）いたしました。これは主に、投資その他の資産が10,950千円、有形固定資産が6,224千円増加した一方で、無形固定資産が2,848千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は648,210千円となり、前連結会計年度末と比べ40,045千円減少（同5.8%減）いたしました。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は333,079千円となり、前連結会計年度末と比べ42,564千円増加（前連結会計年度末比14.7%増）いたしました。これは主に、短期借入金が30,000千円、賞与引当金が21,553千円、製品保証引当金が10,138千円増加した一方で、買掛金が8,293千円、1年内返済予定の長期借入金が5,276千円、その他が5,690千円減少したことによるものであります。固定負債は210,396千円となり、前連結会計年度末と比べ82,295千円減少（同28.1%減）いたしました。これは主に、長期借入金が84,156千円減少したことによる

ものであります。

この結果、負債合計は543,475千円となり、前連結会計年度末と比べ39,730千円減少（同6.8%減）いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は104,734千円となり、前連結会計年度末と比べ315千円減少（前連結会計年度末比0.3%減）いたしました。これは主に、利益剰余金が315千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は16.1%（前連結会計年度末は15.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の連結業績予想につきましては、CIM関連業務のガイドライン変更や改善項目の適用により、当初想定していた受注が確保できなかったこと、さらに子会社における受注がペンディングになっていた影響などで売上高が確保できませんでした。加えて、ミャンマー国内における情勢不安定の影響によりミャンマー支店の稼働が大きく低下し、オフショア業務が想定よりも進まなかったことなどから、当初予定していた売上利益率を確保できず、各利益項目についても予想を下回る結果となる見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2024年6月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	308,077	211,007
受取手形、売掛金及び契約資産	226,254	265,133
棚卸資産	23,918	29,007
その他	39,201	38,434
貸倒引当金	△3,420	△3,922
流動資産合計	594,032	539,661
固定資産		
有形固定資産	28,111	34,335
無形固定資産	17,563	14,715
投資その他の資産	48,548	59,498
固定資産合計	94,223	108,548
資産合計	688,255	648,210

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,666	3,372
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	117,505	112,229
未払費用	73,859	74,544
未払法人税等	180	5,003
賞与引当金	14,270	35,824
受注損失引当金	10,459	5,084
製品保証引当金	—	10,138
その他	62,572	56,882
流動負債合計	290,514	333,079
固定負債		
長期借入金	279,054	194,898
資産除去債務	13,030	13,056
その他	607	2,442
固定負債合計	292,691	210,396
負債合計	583,206	543,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,031	94,031
資本剰余金	38,457	38,457
利益剰余金	△27,990	△28,305
株主資本合計	104,499	104,184
新株予約権	550	550
純資産合計	105,049	104,734
負債純資産合計	688,255	648,210

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	981,984	955,589
売上原価	684,723	693,481
売上総利益	297,260	262,108
販売費及び一般管理費	269,042	271,420
営業利益又は営業損失(△)	28,218	△9,312
営業外収益		
受取利息	22	2
補助金収入	4,498	7,900
保険解約返戻金	2,557	—
その他	563	1,735
営業外収益合計	7,641	9,638
営業外費用		
支払利息	2,722	3,551
為替差損	—	283
その他	635	847
営業外費用合計	3,358	4,683
経常利益又は経常損失(△)	32,502	△4,357
特別利益		
固定資産売却益	942	—
特別利益合計	942	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	33,444	△4,357
法人税等	4,535	△4,041
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,909	△315
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	28,909	△315



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,909	△315
四半期包括利益	28,909	△315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,909	△315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	738,609	160,642	82,732	981,984	—	981,984
外部顧客への売上高	738,609	160,642	82,732	981,984	—	981,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,357	2,074	—	5,431	△5,431	—
計	741,966	162,716	82,732	987,415	△5,431	981,984
セグメント利益	171,865	44,692	20,343	236,900	△208,682	28,218

(注) 1. セグメント利益の調整額△208,682千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△208,682千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	774,988	101,199	79,401	955,589	—	955,589
外部顧客への売上高	774,988	101,199	79,401	955,589	—	955,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,425	10,943	—	13,368	△13,368	—
計	777,413	112,142	79,401	968,957	△13,368	955,589
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	191,502	△3,335	22,377	210,544	△219,856	△9,312

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△219,856千円には、セグメント間取引消去117千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△219,974千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。